

「山の田んぼ追想」 雑感

我が家の山の田んぼは2ヶ所に分かれていました。「西方」と呼ばれていた所と、「奥」と呼ばれていた所です。どちらも狭い山道を登り、農業用の機械を運び入れるのも一苦勞です。農薬散布も並大抵の苦勞ではありませんでした。大した広さでもないこの土地に執着していたのは、理解できません。奥の田んぼは購入した山に属していたものでした。これらの山の田んぼは戦後の食糧難の時代に多少役に立った産物でした。小規模でしたので、我々子供が田植えや、稲刈り、稲こきを手伝うこととなりました。子供の頃を振り返ってみますと、今では懐かしい思い出となって、心のなかに残っています

この機会にまだ記憶しているものをまとめて、振り返ってみたいと思います